

# なし・かきの主要病害の発生状況

南信農業試験場 2023年9月29日更新

※今回新たに記載したデータは赤字で表記

## ナシ黒星病

表1 ナシ黒星病菌子のう胞子飛散消長（半旬毎） 単位：個

年 度	4 月						5 月					
	1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬	1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
2023	0	1	1	4	1	36	0	249	70	3	242	940
2022	0	0	3	27	109	1,423	378	574	1,733	1	243	51
平 年	8	180	384	1,029	4,075	2,025	3,516	3,166	1,439	1,949	696	327

\*罹病葉から飛散する子のう胞子数です。\*平年は過去10年の平均値です。

表2 果実の発病（南信試「幸水」殺菌剤無散布） 単位：%

年 度	4 月			5 月			6 月			7 月			8 月		
	2 5 日	5 日	1 5 日	2 5 日	5 日	1 5 日	2 5 日	5 日	1 5 日	2 5 日	5 日	1 5 日	2 5 日		
2023	0.0	10.3	22.5	13.8※	59.8	65.4	78.2	88.0	96.6	—	—	—	—		
2022	0.0	1.0	27.4	25.5	38.5	51.2	57.3	66.4	81.8	—	—	—	—		
平 年	1.2	12.7	25.6	27.8	34.7	43.6	46.1	63.6	70.0	77.6	90.3	91.7	98.0		

※摘果後の調査結果  
黒星病による落果が増加したため、2023年は7月14日をもって調査終了

\*平年は過去10年の平均値です。

表3 果そう葉の発病（南信試「幸水」殺菌剤無散布） 単位：%

年 度	4 月		5 月			6 月		
	2 5 日	5 日	1 5 日	2 5 日	5 日	1 5 日	2 5 日	
2023	0.0	0.0	5.3	10.1	33.0	61.6	71.5	
2022	0.0	0.0	2.1	38.3	43.8	55.7	63.6	
平 年	0.0	1.4	5.2	20.7	35.2	49.1	57.1	

\*平年は過去10年平均値です。

## ナシ赤星病

表4 ナシ赤星病菌冬孢子堆成熟度（降雨日ごと）

年 度	4月			5月		
2023	4月5日 25.0	4月7日 77.5	4月16日 100.0			
2022	4月1日 25.0	4月4日 26.3	4月8日 25.0	4月14日 25.0	4月15日 100.0	4月22日 ※

\*ビャクシン樹上の冬孢子堆の降雨による膨潤程度です。成熟度100は調査した全ての冬孢子堆が完全に膨潤した状態を表します。  
※4月15日に膨潤した冬孢子堆の再膨潤と胞子形成が認められた。

## ナシ黒斑病

表5 越冬病斑上の胞子形成度

年 度	4 月			5 月		
	5 日	1 5 日	2 5 日	5 日	1 5 日	2 5 日
2023	0.0	3.3	5.0	6.7	6.7	8.3
2022	0.0	3.3	15.0	0.0	3.3	5.6
平 年	13.6	18.3	26.8	23.3	35.5	32.7

2023年から旬ごとの調査に変更しました。

\*値100の場合は1個の病斑に100個以上胞子を形成しています。\*平年は過去10年の平均値です。

表6 胞子飛散状況（18×18mm当たりのAlternaria属菌の捕捉胞子数） 単位：個

年 度	4 月			5 月			6 月			7 月			8 月			9 月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
2023	0	2	6	6	53	48	23	19	50	22	9	16	26	72	20	12	18	10
2022	1	3	14	2	22	41	74	111	78	60	27	27	13	1	4	0	13	0
平 年	1.3	2.6	6.1	7.1	15.6	23.3	46.9	77.8	51.1	41.9	22.5	28.4	28.6	12.7	12.3	7.8	5.5	3.4

\*平年は過去10年の平均値です。

2023年から旬ごとの調査に変更しました。

表7 果実の発病（南信試「二十世紀」殺菌剤無散布、無袋） 単位：%

年 度	5 月			6 月			7 月			8 月			9 月		
	5 日	1 5 日	2 5 日	5 日	1 5 日	2 5 日	5 日	1 5 日	2 5 日	5 日	1 5 日	2 5 日	5 日	1 5 日	2 5 日
2023	0.0	0.0	1.9	18.8	41.6	69.6	91.4	99.0	—	—	—	—	—	—	—
2022	0.0	0.4	1.0	0.9	4.0	43.8	82.7	99.6	100.0	—	—	—	—	—	—
平 年	0.0	0.0	1.0	1.8	4.3	12.4	32.5	67.1	80.8	84.6	87.6	98.2	—	—	—

\*平年は過去10年平均値です。

黒斑病による落果が増加したため、2023年は7月14日をもって調査終了

表8 新梢葉の発病（南信試「二十世紀」殺菌剤無散布） 単位：%

年 度	5 月			6 月			7 月			8 月			9 月		
	5 日	1 5 日	2 5 日	5 日	1 5 日	2 5 日	5 日	1 5 日	2 5 日	5 日	1 5 日	2 5 日	5 日	1 5 日	2 5 日
2023	0.0	0.0	9.6	11.2	20.3	30.2	42.8	54.4	74.3	74.5	76.6	88.3	91.8	—	—
2022	0.0	1.6	0.0	17.3	20.8	53.8	68.6	80.5	83.3	86.8	—	—	—	—	—
平 年	0.1	0.3	2.0	5.1	8.7	20.0	27.4	40.1	49.5	53.3	54.0	61.5	62.2	57.3	63.0

\*平年は過去10年の平均値です。

黒斑病による落葉が増加したため、2023年は9月5日をもって調査終了

## カキ円星落葉病

表9 胞子飛散状況（18×18mm当たりのカキ円星落葉病菌子のう胞子の捕捉胞子数） 単位：×1,000個

年 度	5 月						6 月						7 月					
	1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬	1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬	1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
2023	—	0	0.1	0.1	—	1.9	0.4	5.3	7.1	8.9	13.4	45.5	39.4	62.7	133.3	19.1	3.6	60.4
2022	0.3	0.1	0.6	0.0	0.2	0.4	0.3	0.4	2.8	1.5	4.6	2.5	0.6	16.8	11.9	23.1	6.4	7.4
平 年	0.4	1.5	2.4	4.0	2.4	6.9	8.7	13.8	26.5	23.3	48.9	62.6	75.6	60.7	60.5	28.2	31.4	29.0

\*罹病葉から飛散する子のう胞子数です。\*平年は過去10年の平均値です。